

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

森林文化都市はんのう 水と緑の回廊ブラッシュアッププロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県飯能市

3 地域再生計画の区域

埼玉県飯能市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

飯能市は都心からアクセスしやすい地域（50km圏内）でありながら、豊かな自然を体験でき、市街地を取り囲むように「宮沢湖」「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」「飯能河原・天覧山」という本市の代表的な観光スポットが点在し、これらを結んだ面的エリアを都市回廊空間として位置づけている。これらの観光スポットには、年間を通じて観光客が訪れており、特に拠点の一つである宮沢湖畔には、北欧の雰囲気とムーミンの世界観が体験できる施設「メツァ」が整備されたことで、新たな人の流れが創出され、本市の交流人口（観光入込客数）は増加の一途をたどっている。

一方、定住人口については平成17年の84,982人をピークに減少に転じており、特に若者世代の転出超過は少子化や人口減少に拍車をかけている。特に山間地域では、定住人口の減少、高齢化率の上昇が顕著である。そのため、山間地域における賑わいの場、経済活動（消費、仕事、雇用）の場を創出し、市、民間、住民が連携した取組を展開し、山間地域における交流人口、移住・定住の促進を図る必要がある。

4-2 地方創生として目指す将来像

【概要】

飯能市は現在、市街地を取り囲むように点在する観光スポットについて、各拠点の魅力をブラッシュアップするとともに、面的に連携させて都市回廊空間としての魅力の構築に取り組んでいる。特に拠点の一つである、北欧の雰囲気とムーミンの世界観が体験できる施設「メツァ」の開業も相まって、メツァを含む市街地の都市回廊空間を訪れる交流人口は増えつつある。

この増加した交流人口をメツァ等の市街地の観光スポットにとどめず、山間地域に誘導し、新たな人の流れを創出することで、全市的にその効果を波及させ、交流人口の更なる増加及び人口減少に歯止めをかけることを目指している。

【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2020年度増加分 1年目	2021年度増加分 2年目
名栗地域観光交流拠点入込客数(人)	55,000	2,000	6,000
施設売上高(千円)	0	30,000	50,000
施設雇用人数(人)	0	1	6
飯能市さわらびの湯利用者数(人)	70,900	400	400

2022年度増加分 3年目	K P I 増加分 の累計
6,000	14,000
10,000	90,000
3	10
400	1,200

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

山間地域観光交流資源ブラッシュアップ事業

③ 事業の内容

山間地域観光交流資源ブラッシュアップ事業として、2つの事業を実施し、相互に効果を発揮させ、山間地域へ賑わいを誘導する。

(1) 名栗地区観光交流拠点の自立運営

市街地周辺に点在する主要な観光スポットを連結した都市回廊空間から、観光客を山間地域へも誘導するため、山間地域の観光・交流拠点として、新たな施設を追加し、リニューアルする「飯能市農林産物加工直売所」において、宿泊事業、イベント事業（野外ステージ）、農林産物の販売（マルシェ）、食の提供などを行うほか、拠点周辺の森林資源を活かした間伐体験や森林保全体験（地元産の西川材を活用したワークショップなど）、自然の中でのアクティビティ等を通じて、地域のファンを増やせるようなプログラムを提供し、施設運営の自立化を促進する。そのため、新たな施設について指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを生かした事業を展開し、導入から3年後には指定管理料を必要としない、自走できる体制とする。本事業により、観光コンシェルジュなど地元人材の活用・雇用、地元農林産物を使ったイベントの開催、地元からの食材等の調達など、地元の消費・仕事・雇用を創出するとともに、地域外の資金を誘導し、地域内での循環を実現する。地元住

民等の参加により事業を展開することで、地域への愛着、誇りを持つことを目指す。また、運営、イベント等では公共交通バスの利用を促進することで路線バスの維持、確保にもつなげるものとする。

(2) 観光施設のブラッシュアップ

飯能市農林産物加工直売所に隣接する市の温泉施設「飯能市さわらびの湯」をリニューアルするにあたり、魅力をブラッシュアップするため、施設の検討、実施設計を行う。本施設のブラッシュアップにより、観光交流拠点と連携した賑わいの誘導、魅力の相乗効果につなげる。山間地域観光交流資源ブラッシュアップ事業として、2つの事業を実施し、相互に効果を発揮させ、山間地域へ賑わいを誘導する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

飯能農林産物加工直売所は市が設置し、民間事業者による指定管理により運営する。民間事業者の創意工夫により、各種サービスを提供して収入を得ること、かつ民間事業者の持つノウハウを生かしたプロモーションを展開し利用者の確保を図ることで、市の支援に頼らない「稼ぐ力」を発揮した運営が可能である。

【官民協働】

市の施設を指定管理者制度による運営とし、民間の経営ノウハウ、アイデアを活用するとともに、地域の林業家や事業者等と連携していくほか、イベントとの連携などにより、観光・交流拠点としての充実を図る。また、イベント実施にあたっては、イベントの主催者やスポンサーの獲得に努め、イベント利用料収入のほか、民間資金をもって事業を展開していく。

【地域間連携】

埼玉県の南西部に位置し、地域的につながりの深い5市（飯能市、所沢市、狭山市、入間市、日高市）で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議

会等と連携を図り、圏域としてスケールメリットを生かしたプロモーションを展開する。また、様々な連携を行っている横浜市、墨田区、豊島区、秩父市などとの連携による広域的なプロモーションも進める。

【政策間連携】

中心市街地の都市回廊空間と、山間地域における「水と緑の回廊空間」との間において、相互に生じる人の流れを双方向の賑わいにつなげる。また、山間地域の観光・交流拠点においては、観光振興・農業振興・林業振興の政策間連携により、賑わいの創出や地域の活性化、地域の産業資源や地域人材の活用につなげる。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度5月に、前年度3月末時点のKPIの達成状況を企画部地方創生推進室が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

大学や産官学民の連携組織である飯能市地域創生会議、指定管理者委員会による意見や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

毎年度、飯能市のホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 62,000千円

⑧ 事業実施期間

2020年4月1日から2023年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

特になし。

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 回遊ルートづくり事業

ア 事業概要

観光スポットを連結するための回遊ルートづくりとして、案内看板、導標を設置

イ 実施主体

飯能市

ウ 事業期間

2020年4月1日から2023年3月31日まで

(2) アニメツーリズム推進事業

ア 事業概要

本市を舞台とするアニメ「ヤマノススメ」の聖地であることから、商工会議所、商店街と連携し、中心市街地や天覧山を舞台とした聖地巡礼や商店街と連携したスタンプラリーなどを実施

イ 実施主体

アニメツーリズム実行委員会

ウ 事業期間

2020年4月1日から2023年3月31日まで

(3) エコツーリズム推進事業

ア 事業概要

年間約150本のエコツアーを実施
ツアー参加者は約4,000人を想定

イ 実施主体

エコツーリズム推進協議会

ウ 事業期間

2020年4月1日から2023年3月31日まで

- (4) 県外国人観光客誘致事業
- ア 事業概要
外国メディアを対象としたモニターツアー実施等により、本国への情報発信
 - イ 実施主体
飯能市（埼玉県共催）
 - ウ 事業期間
2020年4月1日から2023年3月31日まで
- (5) 隣接自治体間の観光スポットと連結した広域によるウォーキング事業
- ア 事業概要
飯能市一日高市間での広域ウォーキング事業の実施
 - イ 実施主体
飯能市、日高市
 - ウ 事業期間
2020年4月1日から2023年3月31日まで
- (6) 飯能住まい事業
- ア 事業概要
農山村の豊かでゆとりある生活と地域の魅力を活かした良質な生活空間の創出
空き家バンク制度などの空き家対策事業と連携
金融機関との協定締結により低金利の住宅ローンを提供
 - イ 実施主体
飯能市
 - ウ 事業期間
2020年4月1日から2023年3月31日まで
- (7) 森林保全事業
- ア 事業概要
間伐体験や森林づくり、自然体験などを通じ、自然とのふれあい、環境教育、情操教育の場として活用を図る。
 - イ 実施主体
飯能市
 - ウ 事業期間
2020年4月1日から2023年3月31日まで
- (8) 公共交通対策事業
- ア 事業概要
全市及び山間地域における路線バスの路線の維持確保
 - イ 実施主体
飯能市

ウ 事業期間

2020年4月1日から2023年3月31日まで

(9) メツツアとの連携

ア 事業概要

北欧の雰囲気とムーミンの世界観が体験できる施設メツツア運営業者である(株)ムーミン物語と連携した、誘客を目的としたイベント開催や共同プロモーションを行う。

イ 実施主体

飯能市、(株)ムーミン物語

ウ 事業期間

2020年4月1日から2023年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2023年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。